

第 15 回北海道言語聴覚士会 学術集会

日時：2022 年 1 月 22 日（土）10:00～16:00

会場：Zoom による Web 開催

参加費：道士会 会員；無料

他都府県士会；会員 1000 円 都道府県士会；非会員 3000 円

プログラム

時間	午前の部
9:30～	Zoom 会場 開場
10:00～	開会の挨拶（北海道言語聴覚士会 会長 小橋透）
10:05～	特別講演会① 摂食嚥下リハビリテーションにおける間接訓練の最新の知見 講師：福岡 達之 先生（広島国際大学総合リハビリテーション学部） 司会：高倉祐樹（北海道大学）
12:05～	お昼休憩
時間	午後の部
13:00～	一般演題（発表 8 分 質疑応答 5 分） 座長：山田晃司（旭川リハビリテーション病院） 1）ローマ字書取において仮名表記で濁点の誤りとなる反応を認めた一例 ●加藤孝政（新さっぽろ脳神経外科病院） 2）パーキンソン病患者の DBS 手術前後の音声評価 ●田原 翼（北海道大学病院リハビリテーション部）
13:30～	学会発表 報告会① （発表 8 分 質疑応答 5 分） 座長：山田晃司（旭川リハビリテーション病院） 1）模写の正確さに比して指示描画で特徴を描けない一例 ～描画時の誤りの質的検討～ ●能登 栞（クラーク病院）

	2) 呼称障害例に対する Semantic Feature Analysis と Phonological Components Analysis による練習効果の比較 ●西岡 愛理沙（札幌秀友会病院）
14 : 00～	休憩
14 : 05～	特別講演会② 北海道における失語症意思疎通支援事業の現状と課題 講師：藪 貴代美 先生（北海道言語聴覚士会 副会長） 座長：若松千裕（札幌医科大学病院）
15 : 05～	休憩
15 : 10～	学会発表 報告会 ② （発表 8 分 質疑応答 5 分） 座長：大澤朋史（網走中央病院） 1) 視覚性呼称と語想起課題の成績が併行して上昇した失語症例 一産出単語の頻度情報を用いた解析ー ●大門 正太郎（クラーク病院） 2) 複数種類の錯語が多様なパターンで組み合わせられた言い誤りを呈した失語症の 1 例 ●小山 健太（札幌病院） 3) 重症 COVID-19 に対する人工呼吸器装着下で経口摂取が可能となった症例 ●黒川 翔（札幌医科大学）
15 : 55～	閉会の挨拶（北海道言語聴覚士会 副会長 藪 貴代美）